

アッヴィ、2016年度第3四半期の業績を発表

November 09, 2016

本資料は、米国アッヴィ社が2016年10月28日（米国時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳し、11月9日、皆さまのご参考に供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料（英文）については、www.abbvie.comをご覧ください。なお、本文中には日本未承認薬に関する情報が含まれています。

アッヴィ、2016年度第3四半期の業績を発表

- ・ 前年同期比7.1%増の成長を反映し、第3四半期の希薄化後EPSはGAAPベースで0.97ドル、調整希薄化後EPSは1.21ドル
- ・ 第3四半期の売上高はGAAPベースで64億3000万ドル。調整後売上高は、営業ベースで8.0%増
- ・ ヒュミラの全世界での売上高12.1%を反映し、総売上高は営業ベースの売上高で11.3%増
- ・ 第3四半期のイムブルピカの全世界での売上高は5億100万ドル
- ・ 営業利益率はGAAPベースで36.7%、調整後ベースで42.8%
- ・ 2016年度のGAAPの希薄化後EPSの見通しを3.74~3.76ドルへと引き上げ、調整後EPSの見通しを4.80ドル~4.82ドルに引き上げ、中間点における12.1%の成長を反映
- ・ 2017年の配当金12%引き上げを発表。2017年2月の支払配当金から適用

米国イリノイ州ノースシカゴ（2016年10月28日）/PRNewswire/—アッヴィ（NYSE：ABBV）は、2016年度第3四半期（2016年9月30日終了）の業績を発表しました。

この発表を受け、アッヴィの会長兼CEOのリチャード・A・ゴンザレスは、「期待を上回るスピードでEPSが成長したこともあり、今四半期も当社の業績は好調でした。本年度はこれまでに、好調な業績、経営、研究開発を達成しており、パイプラインをはじめとする優先課題を引き続き推進していきます。アッヴィは、ユニークな投資対象となっており、安定した成長を示すとともに、投資家に対し魅力的な資本配当を提供しています。例えば配当金については、約4年前に当社が独立企業となって以来60%増と急速に引き上げを行っています」と述べています。

第3四半期の業績

- ・ 第3四半期の全世界での売上高は、8.2%増の64億3000万ドルと報告されました。全世界での調整後売上高は、0.6%の為替レート変動によるマイナスの影響を除くと、8.0%増でした。
- ・ ヒュミラの全世界での売上高は11.3%増となり、為替レート変動による0.8%の影響を除くと、営業ベースでのヒュミラの売上高は12.1%増となりました。ヒュミラ売上高は、リウマチ、皮膚、消化器という三大市場カテゴリーの全てにおける継続的な躍進にけん引され、世界中で力強い成長を遂げています。
- ・ 第3四半期のイムブルピカの全世界売上高は5億100万ドルで、そのうち米国内の売上高が4億3,700万ドル、米国外利益分配が6,400万ドルです。総売上高の増加に関しても、デュオドーバおよびCreonの力強い成長にけん引されました。
- ・ 第3四半期の売上総利益率はGAAPベースで76.6%でした。調整後売上総利益率は80.7%でした。
- ・ 売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、GAAPベースで21.5%でした。売上高に占める調整後SG&Aの割合は21.4%でした。
- ・ 売上高に占める研究開発費の割合は、GAAPベースで17.2%でした。調整後R&Dの割合は、全期パイプラインへの投資を反映し、16.5%となりました。
- ・ 第3四半期におけるGAAPベースの営業利益率は36.7%でした。調整後営業利益率は42.8%でした。
- ・ 純支払利子は2億5,000万ドルでした。第3四半期におけるGAAPベースの税率は20.7%、調整後の税率は19.9%でした。
- ・ 第3四半期における希薄化後1株当たり利益は、GAAPベースで0.97ドルでした。調整希薄化後EPSは、無形資産の償却費およびその他の特定項目を除き、7.1%増の1.21ドルでした。

第3四半期の主な出来事

- ・ アッヴィは、再発性/難治性（R/R）の慢性リンパ性白血病（CLL）で、染色体17p欠失またはTP53遺伝子変異が認められ、B細胞受容体経路阻害剤が適していないかまたは無効である成人患者さん、もしくは化学療法およびB細胞受容体経路阻害剤が無効であり、染色体17pの欠失およびTP53遺伝子変異を有さない患者さんに対するVENCLYXTO™（venetoclax）の適応について、欧州医薬品庁（EMA）の欧州医薬品委員会（CHMP）から肯定的な意見が示されたことを発表しました。また、カナダ規制当局からも、染色体17p欠失が認められるR/R CLL患者さんに対するVenclaxta™（venetoclax）の承認が得られたことを発表しました。今年に入って、過去に1回以上の治療歴があり染色体17p欠失が認められるCLL患者さんの治療薬として米国食品医薬品局（FDA）からもVenclaxtaの迅速承認を取得しています。VENCLYXTOは、アッヴィとロシュグループの一員であるGenentech社が共同で開発しています。
- ・ アッヴィは、辺縁帯リンパ腫（MZL）患者さんに対する投与に関し、イムブルピカの「医薬品承認事項変更申請」（sNDA）を米国FDAに提出したことを発表しました。MZLは、増殖速度が緩やかな非ホジキンリンパ腫です。申請が承認された場合、MZLは特殊な血液がんとしてイムブルピカの5番目の適応症となります。
- ・ アッヴィは、rovalpituzumab tesirine（Rova-T）の試験を継続して進めました。Rova-Tはがんの幹細胞を標的とした、バイオマーカーに特異的な革新的な治療法で、抗DLL3たん白質（DLL3）を発現するがん細胞に直接細胞毒性薬を送達する標的抗体を結合させます。DLL3の発現は、Rova-Tが一部の小細胞肺癌（SCLC）、転移性黒色腫、多形性膠芽腫、前立腺がん、膵がん、大腸がんを含め、さまざまな神経内分泌腫瘍の治療にも有用である可能性を示唆しています。アッヴィは最近、神経内分泌腫瘍の第I相8群間「バスケット試験」およびSCLCのファーストライン治療として第I/II相レジメン選択試験の組入れを開始しました。
- ・ アッヴィは、ベリンガーインゲルハイム（BI）社との共同開発で、中等度~重度の尋常性乾癬患者さんに対するrisankizumabの投与を検討する第III相ビボタル試験の組入れを完了しました。2017年末までに、3つの登録試験からデータが得られる予定です。アッヴィとBI社は、クローン病、乾癬性関節炎および喘息に対するrisankizumabの作用も検討しており、2017年度第1四半期にクローン病の第III相試験を開始する予定です。
- ・ NSSA阻害剤またはプロテアーゼ阻害剤による治療を含め、ジェノタイプ1型に対する直接作用型抗ウイルス薬（DAA）を使用した過去の治療が無効であった慢性C型肝炎ウイルス（HCV）感染患者さんの治療を目的とした研究段階のglecaprevir（ABT-493）/pibrentasvir（ABT-530）（G/P）汎遺伝子型レジメンについて、アッヴィは米国FDA

から画期的治療薬（BTD）の指定を取得しました。BTDの指定は、重篤な疾患または生命を脅かす疾患の治療法の開発および検討の促進を目的としています。

- アッヴィは、ABT-493およびABT-530を使用した次世代の併用レジメンの登録試験を完了しようとしています。未治療の非肝硬変患者さんおよびDAAを使用した過去の治療が無効であった患者さんにおける8週にわたるデータを含め、いくつかの第III相試験の結果を、11月の米国肝臓病学会（AASLD）年次会合にて発表する予定です。アッヴィは、2017年にこの次世代併用レジメンを上市する見通しです。
- アッヴィとBiogen社は、再発型多発性硬化症（RMS）に対する月1回の自己投与型皮下投与治療薬であるZinbrya（daclizumab）の承認を欧州委員会（EC）から取得したことを発表しました。米国FDAの承認は5月に取得しました。この承認は第III相DECIDE試験およびSELECT試験の結果に基づくものです。これらの試験では、Zinbrya 150 mgを4週に1回皮下投与したところ、年換算の再発率および24週時の障害の進行リスクを低減できることが示されました。Zinbryaは、RMS患者さんにおけるMSの疾患活動性の主要な指標について、アボネックス30 mcgおよびプラセボを週1回筋肉内注射にて投与した場合と比較した結果を改善します。アッヴィとBiogen社は、8月に米国でZinbryaを発売する予定です。
- アッヴィとBiogen社は、ロンドンで行われた第32回欧州多発性硬化症会議（European Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis：ECTRIMS）にてデータを発表しました。DECIDEピボタル試験の新たなポストホック解析では、AVONEX®（インターフェロンβ-1a）の筋肉内注射群に比べ、ZINBRYATM投与群において「疾患活動性の根拠なし」（No Evidence of Disease Activity：NEDA）を達成する患者さんが有意に多かったことが示されました。さらに、長期延長試験のEXTENDで得られた新たな中間データでは、多発性硬化症の疾患活動性の臨床意義のある指標に対するZINBRYTAの効果が確認され、ZINBRYTAの安全性プロファイルを裏付ける追加の情報が得られました。
- アッヴィとNeurocrine Biosciences社は、研究段階の経口ゴナドトロピン放出ホルモン拮抗剤であるElagolixの子宮内膜症に罹患した閉経前女性に対する有効性および安全性を検討したピボタル第III相再現試験2試験のデータを米国生殖医学協会（American Society for Reproductive Medicine Scientific：ASRM）の72回集会で発表しました。このデータでは、3か月時点および6か月時点において、プラセボ群に比べ、Elagolix投与群では「子宮内膜症疼痛の日ごとの評価スケール（Daily Assessment of Endometriosis Pain scale）」による子宮内膜症関連の月経痛（月経困難症）および非月経性の腰痛のスコアの統計学的に有意な低下が認められたことが示されました。子宮筋腫の管理に関するElagolixの第III相試験は、現在進行中です。

2016年度通年の見通しの引き上げ

アッヴィは、2016年度通年のGAAPの希薄化後EPS見通しを3.74～3.76ドルに引き上げています。また、2016年度通年の調整希薄化後EPSの見通しを4.80～4.82ドルに引き上げました。2016年度の調整希薄化後EPSの見通しには、1株当たり1.06ドルの無形資産の償却費、買収関連費用およびその決済の影響、バネズエラ通貨の切り下げの影響、ならびにその他の特定項目は含んでいません。

配当金の12%引き上げを明言

アッヴィは、四半期配当金を1株当たり0.57ドルから1株当たり0.64ドルへと引き上げることが取締役会において明言された旨を本日発表しました。この引き上げは、2017年1月13日時点の登録株主に対し2017年2月15日に支払われる配当金から適用されます。配当金の引き上げは、約12%の成長を反映したものであり、増配を通じて株主に対する現金還元を努め続けるというアッヴィの姿勢を表すものでもあります。2013年の設立以来、アッヴィは配当金を60%引き上げてきました。アッヴィは、25年以上にわたり毎年増配を続けている企業を追跡する「S&P Dividend Aristocrats Index」の銘柄となっています。

アッヴィについて

アッヴィは、アボットラボラトリーズからの分社を経て2013年に設立された、研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。専門知識や献身的な社員・イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、世界で最も複雑かつ深刻な疾患領域における先進的な治療薬を開発・提供することをミッションに掲げています。アッヴィは、100%子会社のファーマサイクリクス社を含めて世界で28,000人以上を雇用し、170カ国以上で医薬品を販売しています。当社の概要や人材・製品群・コミットメントに関する詳細はwww.abbvie.comをご覧ください。よろしければTwitterアカウント@Abbvieもフォローください。また、人材情報はFacebookやLinkedInページをご参照ください。

電話会議

アッヴィの主催により、本日午前8:00（中部時間）に投資家の皆さまを対象とした電話会議を開催いたします。会議では第3四半期の業績について議論します。電話会議はアッヴィ投資家向けウェブサイトwww.abbvieinvestor.com上でインターネット配信されます。電話会議のアーカイブは午前11:00（中部時間）以降ご覧になれます。

非GAAPの業績

2015年度および2016年度の業績に関して、調整前（GAAP）および調整後（非GAAP）の両方で提示しています。調整前の業績はGAAPに従って作成したもので、同期間に計上されたすべての売上高と費用を含んでいます。非GAAPの業績は、特定の非現金項目と予測不能な臨時的要因について調整を行ったもので、それらの費用、支出およびその他の特定項目（以下に掲載する調整表に記載）を除外しています。アッヴィの経営陣は、非GAAPの財務指標はアッヴィの業績に関する有用な情報を投資家に提供し、経営陣、アナリストおよび投資家が業績を評価する際に役立つと考えています。非GAAPの財務指標はGAAPに従って作成される財務指標を補足するものであり、これに代わるものではありません。また、当社の2016年度財務見通しに関しても、調整前と非GAAPベースの両方で提示しています。

今後の見通しに関する陳述

本リリースにおける記載には、Private Securities Litigation Reform Act of 1995（1995年米国私募証券訴訟改革法）に示される「今後の見通しに関する陳述」が含まれています。「確信」「期待」「予測」「計画」という言葉およびそれに類する表現は、一般に将来予想に関する陳述となります。当社からの注意喚起として、このような将来予想に関する陳述はリスクおよび不確実性による影響を受け、実際の結果と将来予想に関する陳述での予測との間に大幅な相違が生じる可能性があります。このようなリスクおよび不確実性には、知的財産に対する脅威、他社製品との競合、研究および開発プロセスに特有の困難、敵対的訴訟または政府による介入、業界に関連する法律および規制の変更などがあります。アッヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある経済、競合状況、政府、科学技術およびその他の要因については、Securities and Exchange Commission（米国証券取引委員会）に提出済みのアッヴィの2015年度アニュアルレポート（10-K書式）の1A項「リスク要因」に記載しています。アッヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に発生した出来事または変化によって、今後の見通しに関する陳述を更新する義務を負わないものとします。

アッヴィ

主要製品の売上高

第3四半期（2016年9月30日終了）

（未監査）

				前年同期比（2015年第3四半期）				
	純売上高（単位：100万米ドル）			米国	米国外		合計	
	米国	米国外	合計		調整後	調整前	調整後	調整前
調整後売上高 ^a	\$4,047	\$2,339	\$6,386	9.7%	5.4%	3.8%	8.0%	7.4%
Humira	2,647	1,413	4,060	16.7	4.5	2.4	12.1	11.3
Imbruvica ^b	437	64	501	63.6	70.6	70.6	64.5	64.5
Viekira	76	302	378	(68.8)	30.9	32.5	(20.4)	(19.6)
Lupron	155	38	193	(2.7)	(8.7)	(9.4)	(3.9)	(4.1)
Synagis	-	96	96	n/a	(2.4)	2.5	(2.4)	2.5
Synthroid	188	-	188	(0.3)	n/a	n/a	(0.3)	(0.3)
Creon	187	-	187	16.6	n/a	n/a	16.6	16.6
AndroGel	174	-	174	(2.1)	n/a	n/a	(2.1)	(2.1)
Kaletra	27	110	137	(30.6)	(9.0)	(14.7)	(14.1)	(18.4)
Sevoflurane	19	83	102	(9.9)	(13.8)	(17.4)	(13.1)	(16.1)
Duodopa	10	64	74	>100.0	12.1	11.7	21.4	21.0

注：「調整後」の数値には、為替変動の影響を排除した前年同期比の変化率が反映されています。

n/a = 該当なし

^a 本四半期（2016年9月30日終了）における米国および合計の売上高には、特定項目は含まれていません。詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」をご参照ください。変化率は調整後売上高を用いて算出されています。

^b Imbruvicaの米国外の売上高に関する利益分配が反映されています。

アッヴィ
 主要製品の売上高
 9カ月（2016年9月30日終了）
 （未監査）

	純売上高（単位：100万米ドル）			前年同期比（2015年9カ月）				
				米国	米国外		合計	
	米国	米国外	合計		調整後	調整前	調整後	調整前
調整後売上高 ^a	\$11,641	\$7,135	\$18,776	19.9%	9.8%	5.7%	15.7%	14.1%
Humira	7,554	4,232	11,786	24.4	4.4	0.2	16.2	14.5
Imbruvica ^b	1,146	175	1,321	>100.0	>100.0	>100.0	>100.0	>100.0
Viekira	288	923	1,211	(52.5)	95.0	92.8	12.6	11.6
Lupron	485	117	602	4.3	(2.2)	(7.4)	2.9	1.8
Synagis	-	460	460	n/a	1.8	(3.0)	1.8	(3.0)
Synthroid	558	-	558	(0.5)	n/a	n/a	(0.5)	(0.5)
Creon	517	-	517	15.7	n/a	n/a	15.7	15.7
AndroGel	501	-	501	0.2	n/a	n/a	0.2	0.2
Kaletra	90	326	416	(26.9)	(9.4)	(16.7)	(13.5)	(19.1)
Sevoflurane	58	269	327	(1.8)	(7.4)	(12.4)	(6.5)	(10.7)
Duodopa	26	189	215	>100.0	17.8	16.3	28.6	27.1

注：「調整後」の数値には、為替変動の影響を排除した前年同期比の変化率が反映されています。

n/a = 該当なし

^a 本四半期（2016年9月30日終了）における米国および合計の売上高には、特定項目は含まれていません。詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」をご参照ください。変化率は調整後売上高を用いて算出されています。

^b Imbruvicaの米国外の売上高に関する利益分配が反映されています。

アツヴィ

連結損益計算書

第3四半期および9カ月（2015年および2016年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

	第3四半期 (9月30日終了)		9カ月 (9月30日終了)	
	2016	2015	2016	2015
売上高	\$ 6,432	\$ 5,944	\$ 18,842	\$ 16,459
売上原価	1,504	1,167	4,278	3,025
販売費および一般管理費	1,381	1,474	4,202	4,650
研究開発費	1,106	1,418	3,176	3,210
外部調達による仕掛研究開発費	80	-	160	150
営業経費合計	4,071	4,059	11,816	11,035
営業利益	2,361	1,885	7,026	5,424
支払利子（正味）	250	197	675	487
正味為替差損	(4)	13	313	191
その他費用（正味）	101	28	152	25
法人税控除前利益	2,014	1,647	5,886	4,721
法人税	416	408	1,324	1,094
純利益	\$ 1,598	\$ 1,239	\$ 4,562	\$ 3,627
希薄化後1株当たり利益	\$ 0.97	\$ 0.74	\$ 2.78	\$ 2.21
希薄化後1株当たり利益（特定項目を除く） ^a	\$ 1.21	\$ 1.13	\$ 3.62	\$ 3.16
希薄化後の加重平均発行済株式数	1,640	1,664	1,633	1,635

^a 詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」を参照のこと。

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

第3四半期（2016年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2016年第3四半期		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前（GAAP）	\$ 2,014	\$ 1,598	\$ 0.97
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	208	168	0.11
外部調達による仕掛研究開発費	80	80	0.05
買収関連費用	123	70	0.04
偶発的対価の公正価格の変動	104	104	0.06
その他	(40)	(26)	(0.02)
調整後（非GAAP）	\$ 2,489	\$ 1,994	\$ 1.21

外部調達による仕掛研究開発費は主に、研究開発の提携を反映しています。Pharmacyclics社買収に関連する費用には、補償金やStemcentrx社買収に関連する他の費用、Pharmacyclics社買収に関連する棚卸資産の買収日における公正価格の償却が含まれています。その他には、過去に発表した提携でのマイルストーン支払収益、特許訴訟の和解に関連する前期のロイヤリティ収入、および当社の全世界的な経営合理化に関連した事業再編費用が含まれています。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2016年第3四半期					
	売上高	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛研究開発費	その他費用（正味）
調整前（GAAP）	\$ 6,432	\$ 1,504	\$ 1,381	\$ 1,106	\$ 80	\$ 101
特定項目を調整：						
無形固定資産の償却	-	(208)	-	-	-	-
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	-	-	-	-	-	-
外部調達による仕掛研究開発費	-	-	-	-	(80)	-
買収関連費用	-	(53)	(16)	(54)	-	-
偶発的対価の公正価格の変動	-	-	-	-	-	(104)
その他	(46)	(8)	3	(1)	-	-
調整後（非GAAP）	\$ 6,386	\$ 1,235	\$ 1,368	\$ 1,051	\$ -	\$ (3)

3. 以下に詳細を示すとおり、2016年度第3四半期の調整後税率は19.9%でした。

	2016年第3四半期		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$ 2,014	\$ 416	20.7%
特定項目	475	79	16.6%
調整後 (非GAAP)	\$ 2,489	\$ 495	19.9%

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

第3四半期（2015年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2015年第3四半期		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前（GAAP）	\$ 1,647	\$ 1,239	\$ 0.74
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	125	94	0.05
分社化費	45	39	0.02
Pharmacyclics社との取引その他に関する費用	120	85	0.05
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	480	433	0.27
その他	12	9	-
調整後（非GAAP）	\$ 2,429	\$ 1,899	\$ 1.13

分社化費用とは、主にアッヴィのAbbott社からの分社化に関連するものです。Pharmacyclics社との取引その他に関する費用は、Pharmacyclics社の買収に関連する取引、融資、統合その他の費用を反映しています。マイルストーン支払およびその他の研究開発費は、過去に発表した提携でのマイルストーン支払およびFDAの優先審査保証（priority review voucher）のサードパーティからの購入が含まれます。その他は、主にPharmacyclics社買収のための事業再編活動に関連するものです。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2015年第3四半期		
	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費
調整前（GAAP）	\$ 1,167	\$ 1,474	\$ 1,418
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	(125)	-	-
分社化費	-	(45)	-
Pharmacyclics社との取引その他に関する費用	(45)	(57)	(18)
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	-	-	(480)
その他	(6)	(2)	(4)
調整後（非GAAP）	\$ 991	\$ 1,370	\$ 916

3. 以下に詳細を示すとおり、2015年度第3四半期の調整後税率は21.9%でした。

	2016年第3四半期		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前（GAAP）	\$ 1,647	\$ 408	24.8%
特定項目	782	122	15.6%
調整後（非GAAP）	\$ 2,429	\$ 530	21.9%

アツヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

9カ月（2016年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2016年9カ月		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前（GAAP）	\$ 5,886	\$ 4,562	\$ 2.78
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	554	445	0.27
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	70	70	0.04
外部調達による仕掛研究開発費	160	160	0.10
買収関連費用	327	229	0.15
偶発的対価の公正価格の変動	145	145	0.09
為替レート変動による損失	298	298	0.18
その他	4	31	0.01
調整後（非GAAP）	\$ 7,444	\$ 5,940	\$ 3.62

マイルストーン支払およびその他の研究開発費は、過去に発表した提携でのマイルストーン支払に関連するものです。外部調達による仕掛研究開発費は主に、サードパーティーとのライセンス契約に関連する前払い金を反映しています。買収関連費用には主に、Stemcentrx社買収およびベーリンガーインゲルハイム社との提携に関連する補償金、融資等の費用、ならびにPharmacyclics社買収に関連する棚卸資産の買収日における公正価格の償却が含まれています。その他には、当社の全世界的な経営合理化に関連した事業再編費用、税金引当金の増額、過去に発表した提携でのマイルストーン支払収益、および特許訴訟の和解に関連する前期のロイヤリティ収入が含まれています。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2016年9カ月						
	売上高	売上原価	販売費 および 一般管理費	研究 開発費	外部調達 による仕掛 研究開発費	為替レート 変動による 純損失	その他 (正味)
調整前（GAAP）	\$ 18,842	\$ 4,278	\$ 4,202	\$ 3,176	\$ 160	\$ 313	\$ 152
特定項目を調整：							
無形固定資産の償却	-	(554)	-	-	-	-	-
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	-	-	-	(70)	-	-	-
外部調達による仕掛研究開発費	-	-	-	-	(160)	-	-
買収関連費用	-	(144)	(36)	(135)	-	-	(12)
偶発的対価の公正価格の変動	-	-	-	-	-	-	(145)
ベネズエラの通貨切下げによる損失	-	-	-	-	-	(298)	-
その他	(66)	(61)	(15)	6	-	-	-
調整後（非GAAP）	\$ 18,776	\$ 3,519	\$ 4,151	\$ 2,977	\$ -	\$ 15	\$ (5)

3. 以下に詳細を示すとおり、2016年9カ月の調整後税率は20.2%でした。

	2016年9カ月		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$ 5,886	\$ 1,324	22.5%
特定項目	1,558	180	11.6%
調整後 (非GAAP)	\$ 7,444	\$ 1,504	20.2%

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

9カ月（2015年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2015年9カ月		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前（GAAP）	\$ 4,721	\$ 3,627	\$ 2.21
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	279	212	0.13
分社化費	244	208	0.12
Pharmacyclics社との取引その他に関する費用	540	342	0.20
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	480	433	0.27
外部調達による仕掛研究開発費	150	150	0.10
Shire社提携解消費用	170	170	0.10
その他	80	57	0.03
調整後（非GAAP）	\$ 6,664	\$ 5,199	\$ 3.16

分社化費用とは、アッヴィのAbbott社からの分社化に関連するものです。Pharmacyclics社との取引その他に関する費用は、Pharmacyclics社の買取に関連する取引、融資、統合その他の費用を反映しています。マイルストーン支払およびその他の研究開発費は、過去に発表した提携でのマイルストーン支払およびFDAの優先審査保証（priority review voucher）のサードパーティからの購入が含まれます。外部調達による仕掛研究開発費は、主にC2Nとの提携を反映しています。2014年第4四半期にお知らせしたとおり、Shire社提携解消費用は、終了したShire社との取引に関連する外貨ポジションの残りの精算完了を反映しています。その他は、主にPharmacyclics社買取のための事業再編活動と支払利子に関連するものです。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2015年9カ月					
	売上原価	販売費 および 一般管理費	研究 開発費	外部調達 による仕掛 研究開発費	支払利子 (正味)	正味 為替差損
調整前（GAAP）	\$ 3,025	\$ 4,650	\$ 3,210	\$ 150	\$ 487	\$ 191
特定項目を調整：						
無形固定資産の償却	(279)	-	-	-	-	-
分社化費	(5)	(239)	-	-	-	-
Pharmacyclics社との取引その他に関する費用	(64)	(279)	(111)	-	(86)	-
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	-	-	(480)	-	-	-
外部調達による仕掛研究開発費	-	-	-	(150)	-	-
Shire社提携解消費用	-	-	-	-	-	(170)
その他	(18)	(42)	(20)	-	-	-
調整後（非GAAP）	\$ 2,659	\$ 4,090	\$ 2,599	\$ -	\$ 401	\$ 21

3. 以下に詳細を示すとおり、2015年9カ月の調整後税率は22.0%でした。

	2015年9カ月		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$ 4,721	\$ 1,094	23.2%
特定項目	1,943	371	19.1%
調整後 (非GAAP)	\$ 6,664	\$ 1,465	22.0%